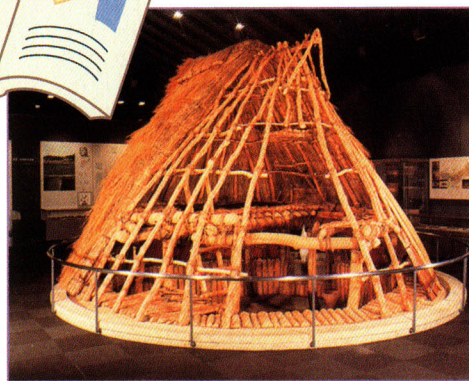


調べてみよう！



どんな家に住んでいたのかな

この時代には「たてあなしきじゅうきよ竪穴式住居」といわれる家に住んでいました。地面を腕の長さくらい掘り下げて、柱を立て、骨組みを作ります。その上に、葦や茅などで屋根を葺いて作ります。建てる時は、村の人々みんなで集まって作りました。



① 竪穴式住居

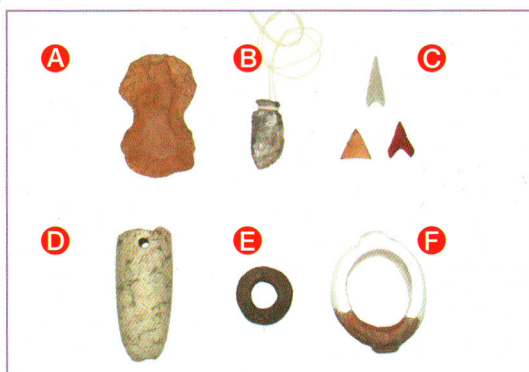
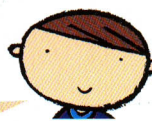
どんなくらしをしていたのかな

この時代の遺跡からは、いろいろな昔の道具やアクセサリーなども見つかっています。

今の家のつくりとは、ずいぶんちがうね。



食べ物や着るものは、どうしていたのかな？



ここで、クイズです！

これは何でしょう。
どれがどれだかあてられるかな？
〔答えは15ページ〕



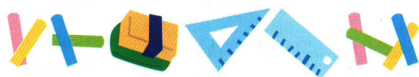
- ①ペンダント () ②腕輪 () ③耳飾り () ④ヤリの先 (石鏃) () ⑤石斧 () ⑥皮剥の道具 (スクレイパー) ()



この人形のようなものは「土偶」といって、祈りや祭りなどに使われたと考えられています。



① 土 偶 (曲木沢遺跡出土)



- 大安場古墳 郡山市田村町大善寺字大安場
- 上納豆内遺跡 郡山市逢瀬町
- 妙音寺遺跡 郡山市富久山町
- 郡山市埋蔵文化財発掘調査事業団 郡山市本町1丁目20番22号 ☎024-934-8358
- 福島県文化財センター 白河館「まほろん」
- VTR「古墳時代の人々のくらし」(市視聴覚センター作成)